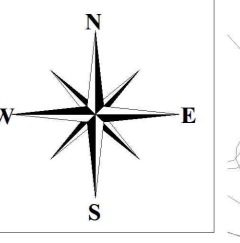


信濃川水系宮川 洪水浸水想定図 (計画規模降雨)



位置図



信濃川水系宮川 洪水浸水想定図 (計画規模降雨)

1 説明文

- (1) この図は信濃川水系宮川について、計画規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定図等は、公表時点の宮川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、宮川の洪水防衛に関する計画の基本となる年超過確率 1/30 (毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/30 (3.3%)) に伴う洪水により宮川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

- | | |
|----------------|--|
| (1) 作成主体 | 長野県 |
| (2) 公表年月日 | 令和 4 年 8 月 8 日 |
| (3) 対象となる河川 | 信濃川水系宮川
(実施区間)
左岸：東筑摩郡麻績村大字北山地先から
麻績川への合流点まで
右岸：東筑摩郡麻績村大字北山地先から
麻績川への合流点まで |
| (4) 指定の前提となる降雨 | 宮川流域に 24 時間で 130mm の降雨を想定 |
| (5) 関係市町村 | 麻績村 |
| (6) その他計算条件等 | 氾濫区域を 5m 格子 (計算メッシュ) に分割して、これを 1 単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。 |

凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m~3.0m未満の区域
- 3.0m~5.0m未満の区域
- 5.0m~10.0m未満の区域
- 10.0m~20.0m未満の区域
- 20.0m以上の区域

--- 市町村界

■ 河川等範囲

■ 浸水想定区域の対象となる河川

S=1:5000(A1)

0 50 100 200 300 400 500m